様式１

県内水道事業体における水道施設の耐震性能

（平成31年3月31日現在）

認可権者	事業体名	事業区分	基幹管路					浄水場					配水池					ポンプ設備					備考
			総延長 (km) A	耐震適合性のある管の延長 (km) B	耐震管の延長 (km) C	耐震適合率 (%) B/A	耐震管の割合 (%) C/A	浄水場数 D	浄水能力合計 (m3/日) E	耐震適合性のある浄水場数 F	耐震適合性のある浄水施設の浄水能力合計 (m3/日) G	耐震化率 (%) G/E	配水場数 H	配水池容量合計 (m3/日) I	耐震適合性のある配水場数 J	耐震適合性のある配水池容量合計 (m3/日) K	耐震化率 (%) K/I	ポンプ台数 L	揚水量合計 (m3/日) M	耐震適合性のあるポンプ台数 N	耐震適合性のあるポンプ揚水量合計 (m3/日) O	耐震化率 (%) O/M	
大臣	佐賀市	水道事業	16.562	8.350	5.988	50.4%	36.2%	4	93,520	2	2,895	3.1%	10	38,832	3	3,101	8.0%	45	275,442	15	81,252	29.5%	
大臣	唐津市	水道事業	184.721	72.009	72.009	39.0%	39.0%	17	69,983	2	3,490	5.0%	57	51,962	11	38,464	74.0%	157	220,122	14	23,097	10.5%	
大臣	鳥栖市	水道事業	16.284	6.355	1.122	39.0%	6.9%	1	40,500	0	0	0.0%	0	16,500	0	6,000	36.4%	14	79,020	14	79,020	100.0%	
知事	多久市	水道事業	138.311	46.824	5.958	33.9%	4.3%	3	5,126	0	0	0.0%	1	6,955	1	3,034	43.6%	42	11,625	6	222	1.9%	
大臣	伊万里市	水道事業	156.608	56.086	23.022	35.8%	14.7%	9	26,444	4	26,200	99.1%	44	19,844	16	9,104	45.9%	134	68,921	22	13,934	20.2%	
大臣	武雄市	水道事業	111.329	14.778	13.130	13.3%	11.8%	3	20,400	2	9,000	44.1%	29	15,846	12	14,389	90.8%	100	101,357	77	55,349	54.6%	
知事	鹿島市	水道事業	22.319	0.000	0.000	0.0%	0.0%	0	13,500	0	0	0.0%	10	6,526	0	2,000	30.6%	25	35,683	5	10,123	28.4%	
知事	小城市	水道事業	3.990	0.696	0.000	17.4%	0.0%	3	9,810	0	0	0.0%	0	7,486	0	0	0.0%	16	9,216	0	0	0.0%	
知事	嬉野市	水道事業	171.861	26.523	7.130	15.4%	4.1%	3	7,780	0	0	0.0%	39	11,097	1	2,000	18.0%	73	10,051	2	1,939	19.3%	
知事	玄海町	水道事業	23.310	1.316	1.316	5.6%	5.6%	4	3,650	3	3,380	92.6%	15	2,589	11	1,911	73.8%	46	22,320	46	22,320	100.0%	
知事	有田町	水道事業	55.628	10.831	6.215	19.5%	11.2%	4	10,540	1	9,540	90.5%	7	5,575	5	4,975	89.2%	64	89,814	28	46,225	51.5%	
知事	大町町	水道事業	1.475	0.656	0.000	44.5%	0.0%	1	28	0	0	0.0%	3	2,508	1	1,097	43.7%	4	27	2	27	100.0%	
知事	江北町	水道事業	58.962	13.597	13.597	23.1%	23.1%	0	0	0	0	-	4	2,679	1	1,000	37.3%	2	576	0	0	0.0%	浄水場なし
知事	白石町	水道事業	78.341	3.325	0.407	4.2%	0.5%	0	0	0	0	-	3	5,027	2	5,000	99.5%	8	1,008	0	0	0.0%	浄水場なし
知事	太良町	水道事業	35.125	4.397	4.397	12.5%	12.5%	0	2,200	0	0	0.0%	0	750	0	0	0.0%	6	2,200	0	0	0.0%	
知事	西佐賀水道企業団	水道事業	10.272	2.446	2.446	23.8%	23.8%	1	9,600	0	0	0.0%	3	9,250	3	9,250	100.0%	13	64,800	0	0	0.0%	
大臣	佐賀東部水道企業団	水道事業	191.410	22.281	22.281	11.6%	11.6%	0	0	0	0	-	7	1,861	5	1,825	98.1%	19	6,677	9	5,028	75.3%	浄水場なし
		用水供給	121.470	43.434	43.434	35.8%	35.8%	2	102,000	2	102,000	100.0%	2	43,750	2	43,750	100.0%	18	279,000	18	279,000	100.0%	
大臣	佐賀西部広域水道企業団	用水供給	86.107	69.295	39.929	80.5%	46.4%	1	48,460	1	48,460	100.0%	2	13,100	2	13,100	100.0%	10	96,970	10	96,970	100.0%	
合　計			1,484.085	403.199	262.381	27.2%	17.7%	56	463,541	17	204,965	44.2%	236	262,137	76	160,000	61.0%	796	1,374,829	268	714,506	52.0%	

（注）1.浄水場数:沈澱池またはろ過池を有する浄水場の数
2.配水場数:配水池を有する配水場の数で、浄水場に附属するものを除く
3.配水池容量合計:浄水場に附属する配水池容量を含む
4.ポンプ台数:取水導水施設、浄水施設、送水施設及び配水施設のポンプ台数の合計
5.総延長:導水管、送水管、配水本管の合計
6.ランクＡ（重要な水道施設）
・ 取水施設、貯水施設、導水施設、浄水施設、送水施設
・ 配水本管に直接接続する配水施設並びに最大の容量を有する配水池等
・ 重大な二次災害を起こす可能性の高い施設
7.ランクＢ（ランクＡ以外の施設）
8.Ｌ２（レベル２地震動）
・過去から将来にわたって当該地点で考えられる最大級の強さを持つ地震動。
9.Ｌ１（レベル１地震動）
・施設の供用期間中に発生する確率が高い地震動。
10.ランクＡでＬ２対応
・個々に軽微な被害が生じても、その機能保持が可能であること。
11.ランクＡでＬ１対応
・原則として無被害であること。
12.ランクＢでＬ２対応
・個々には構造的損傷があっても、システムとしての機能保持が可能であること。また、早期の復旧が可能であること。
13.ランクＢでＬ１対応
・個々に軽微な被害が生じても、その機能保持が可能であること。